

財政問題

財政はどうなるか

黒字とはいえない

／町長

えないのは話が違うという声もある。

① 町長は、今年2億円余黒字というが、11億円借金が増えているから黒字ではなく、無駄な借り入れではないか。

② 県下各市町村の情報基盤整備事業の報道があったので調査をしたが、各町村とも住民に説明をしてアンケート調査等している。黒潮町のように住民に説明しても分からないので、しないという町は無い。財政面からも民間では考えられない事業の進め方である。

議会に対しても事業収支や返済など総合計画も無く予算案を出すのは議会軽視である。

③ さらにテレビ朝日系が見



政権が変わり事業仕分等で財政も厳しくなるが本事業や一般会計への影響を聞く。

答

下村町長

植田本庁総務課長

① 財政は黒字とは言えないと認識している。

② 情報基盤整備は実施計画に基づいて説明している。採算が問題の事業で収入が幾ら、経費がこれと、大まかな計画と言わざるを得ない。

行政の場合、借り入れに対して返済計画という様な事は考えて事業はやらない。

民主党政権になり事業仕分けなどで町財政への影響があり、この情報基盤事業が遅れることもある。

③ テレビ朝日系は通常映らない。町民はさんさんテレビと誤解しているのでは無いか。

食育

食育で町おこしを

食育は大事

／町長

問

福井県小浜市が食育で町おこしに取り組んでいる。保育園児から高校生まで自分達で調理をするため、好き嫌いや食べ残しもないと言う。知能指数も県下で上位という。

食材は地産地消で生産現場を子どもたちに見せ、食糧の生産には自然環境が大事という話や、食べ残さず無駄にしない指導で食糧危機問題まで教えている。

町長は一次産業の町というが、国営農地の活用で地産地消を進め、食育で町おこしをする考えはないか。

答

下村町長

松並教育長

佐賀小中、大方中で給食を実施している。材料は約3割地元産を使っている。給食の中で食の安全安心の教育をやっている。

農業委員長時代、旧大方小中学校の子どもと5、6回食事をとった。その時子どもたちは地元産の野菜を知らず、食育は大事と思った。本町としては健康増進計画の中で食育を進めたい。

水産業

カツオフォーラム

成果は

成果99%

／海洋農林課長

問

カツオフォーラムは有難い催しだが成果はどうだったのか。カツオがとれ過ぎ、安いかから付加価値付けて売る事は有意義だが、そのカツオが3年も釣れない。清水はカツオやサバ、底魚、久礼はウルメやハモなどを釣っているが、佐賀は引き縄のカツオ主体で燃料の高騰など、問題は深刻だ。

漁師は売る前に釣らないかん。カツオ資源の回復が駄目なら、町の漁業をどうするのか。高知新聞の福田記者も行政も一緒に考える時だといっている。私達は生きるためにおいしいも古いも無く食べた世代。県と国に動物性蛋白質源の資源

答

谷口海洋農林課長

成果は99%。町にとってカツオ関連の産業と文化の衰退は町の衰退につながると考えている。

頭の痛いのは「こぎ」の人達である。9月に中層魚礁設置の計画だったがスムーズに進まない。

資源の問題は調査機関のデータのみなならず、漁業者の観察情報を貴重な指標として国、水産庁に訴えて行かなくてはいけないと考えている。

